

日本サイエンスコミュニケーション協会 (JASC)

## 第二回年会のご案内

主催：(社)日本サイエンスコミュニケーション協会

協力：りかぼんカフェ、リアルサイエンス

日時：12月7日(土) 13:00~17:00(12:30 開場)

12月8日(日) 9:00~13:15

会場：お茶の水女子大学 3号館 701号室 他

(最寄り駅 東京メトロ丸の内線 茗荷谷駅 徒歩 10分)

有楽町線 護国寺駅 徒歩 15分)

### 社会におけるサイエンスコミュニケーション活動の 多様化とその評価

日本サイエンスコミュニケーション協会 (JASC) では、本年12月7日・8日、東京のお茶の水女子大学にて以下の通り第2回年会を開催いたします。協会員の皆様はもとより、サイエンスコミュニケーション (SC) に関わる多くの方々にお集まりいただき、サイエンスコミュニケーションに関する情報交換を行うとともに、JASCの今後の在り方について考えていける場にしたいと思っております。

今回の年会では、協会員の方々の日頃の活動の成果、あるいは提言を行う場として、「10分間スピーチ」「ポスター&ミニ実演」の場を設けたいと考えております。また「自主企画」として、SCのワークショップ (サイエンスカフェ等) を実施する場も設ける予定です。日本サイエンスコミュニケーション協会年会を、まさしくコミュニケーションの場とするように、是非皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

★★ お申込み・お問い合わせ：日本サイエンスコミュニケーション協会 年会実行委員会 ★★

[annual@sciencecommunication.jp](mailto:annual@sciencecommunication.jp)

参加ご希望の方は、準備の都合上、**11月18日**までにお申し込みください。

お申し込みは協会のホームページのWebフォーム (<http://www.sciencecommunication.jp/event/annual/20131207/>) を利用するか、年会参加申し込みアドレス ([annual@sciencecommunication.jp](mailto:annual@sciencecommunication.jp)) に「JASC 年会参加」とタイトルをつけて、以下のフォームのようにお名前、ご所属、ご連絡先住所&電話番号、メールアドレス、懇親会参加の有無を明記の上、JASC 年会参加と件名をつけてメールでお送りください。

\*\*\*\*\*

<JASC 年会参加申し込み>

(以下の項目をご記入ください)

[申込者氏名] :

[所属先名] :

[連絡先住所] (自宅・職場等) :

[連絡先電話番号] (自宅・職場等) :

[メールアドレス] :

懇親会【選択】: 参加する・しない

#### ★参加費振込先★

参加される方は下記口座に**11月25日**までに振込みをお願いします。

<参加費>

会員 2000円 一般 3000円 (協会員以外の方も是非どうぞ)

<懇親会費 4000円は、大会当日受付で申し受けます>

<振込先>

三菱東京UFJ銀行 三鷹支店 (店番号222)

普通預金 口座0156830

年会参加費口 一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会

(ネカイトカビゲチ シヤ) ニホサイエンスコミュニケーションキョウカイ)

# プログラム

1 日目 <12月7日 (土曜)> 12:30～開場

13:00～ ★開会

★会長挨拶 北澤宏一 サイエンスコミュニケーション協会 会長

13:10～ ★基調講演 「地域振興とサイエンスコミュニケーション」(仮題)

福留強 (全国生涯学習まちづくり協会 理事長、聖徳大学名誉教授)

14:10～ ★休憩

14:20～ ★パネルディスカッション

「全国津々浦々、旅しながらあなたとサイエンスコミュニケーション！」 JASC若手の会

15:50～ ★休憩

16:00～ ★全体会 (事業報告、事業計画、決算、予算等)

17:00～ 懇親会

会場に移動

17:30～ ★懇親会 (お茶の水女子大学食堂「マルシェ」) 19:00 終了予定

2 日目 <12月8日 (日曜)>

9:00～ ★「10分スピーチ」<スピーチ10分 質疑応答3分 計13分>

1) 神戸新聞紙上でのサイエンスコミュニケーションの試み

神戸常盤大学保健科学部 栗岡誠司

2) からくり周期表

野老実験クラブ 佐藤康子他

3) 学校の授業では体験できない実験・観察教室の実施とその効果

“遺伝子ってなんだろう？”～細胞の観察とDNAの抽出～

日本科学技術振興財団・科学技術館 田代英俊 他

4) “科学コミュニケーションとしての産業技術史

ケーススタディ：国立科学博物館産業技術史資料情報センターの場合”

国立科学博物館 亀井修

5) 地域密着型科学コミュニケーションの活動事例 ～日本都市計画家協会賞 優秀まちづくり賞受賞報告～

柏の葉サイエンスエデュケーションラボ 羽村 太雅

6) 研究者の求めるアウトリーチ活動支援とその実施について

農業生物資源研究所 広報室 笹川由紀

7) 「少子高齢社会における科学コミュニケーションの役割」

首都大学東京非常勤講師 東京大学産学ネットワーク「ジェロントロジー」特別会員 石岡祥男

8) 科学コミュニケーション社会における理科教育の再定義

埼玉大学教育学部 小倉 康

★ポスター・ミニ実演

1) りかぼんカフェってなあに

りかぼんカフェ 二階堂恵理 他

2) からくり周期表などの教材開発

野老実験クラブ 佐藤康子 他

3) “地球惑星科学におけるサイエンスイベントの役割”

ユニアス 千葉崇 他

4) 作って学ぶ細胞模型

基礎生物学研究所 倉田智子 他

12:00～ ★ 自主企画ワークショップ

1) りかぼんカフェが求める理科の授業で使える本の実際 <りかぼんカフェ協力企画>

二階堂恵理 青木和子、金澤磨樹子、木甲斐由紀、福家めぐみ

2) 謎の粉の正体はなんだろう

～FOSS 学習プログラムとこれからの理科教育～<リアルサイエンス協力企画>

古川和 他

13:00～ ★ 閉会式

